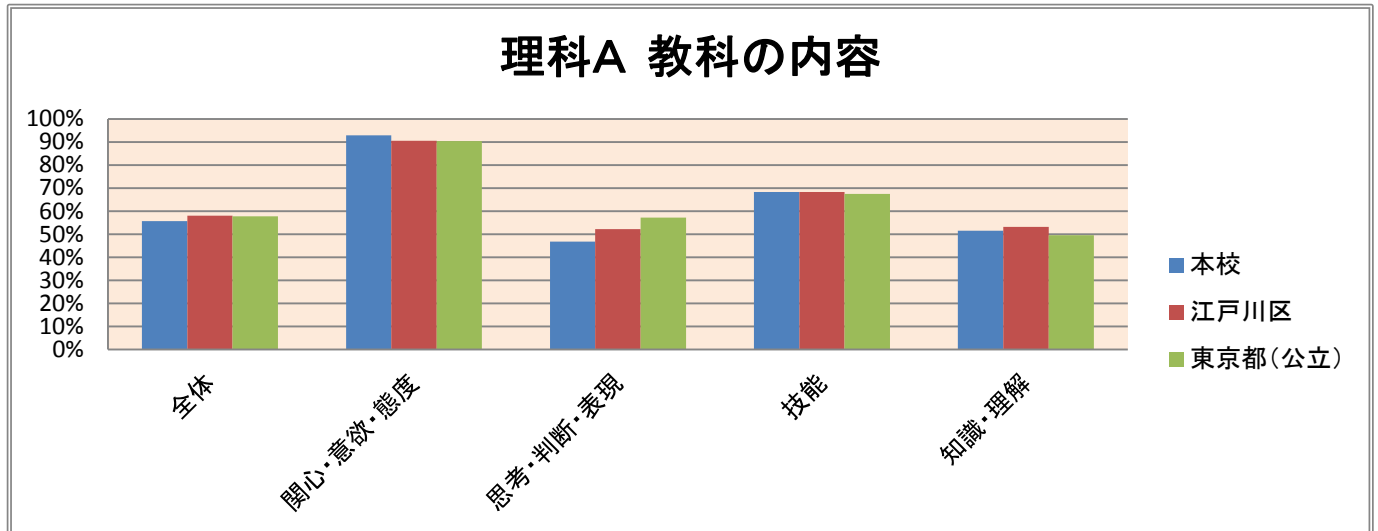


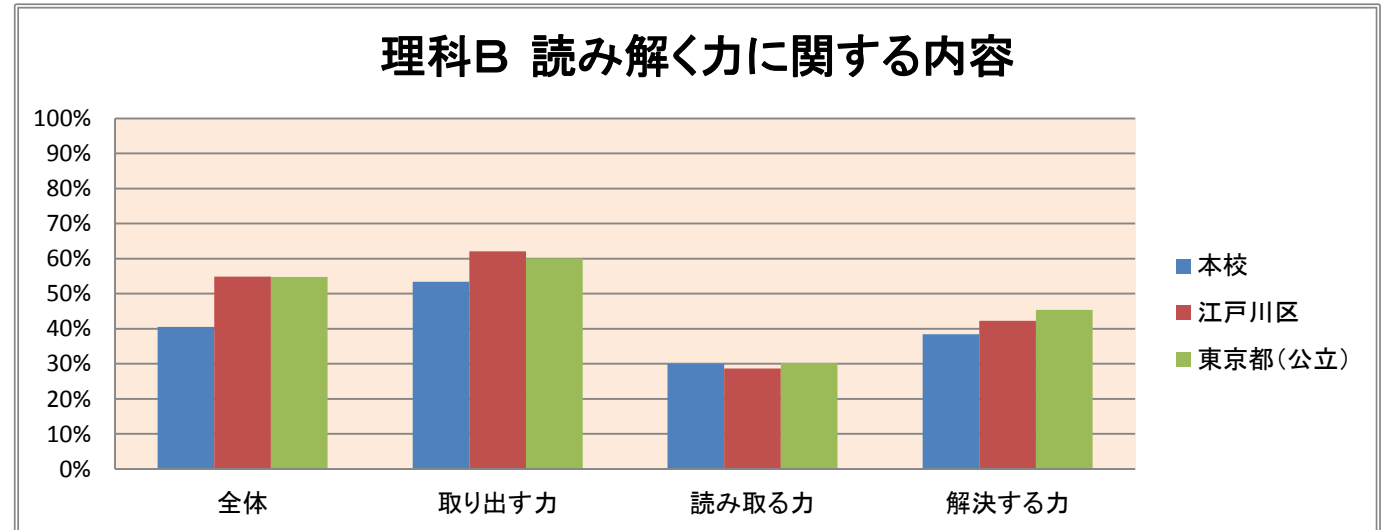
1. 分類ごとの平均正答率

(1)理科A:教科の内容



本校の理科Aの正答率は、全体としては都の平均よりもやや低い結果となりました。項目別では、「関心・意欲・態度」、「技能」、「知識・理解」は都の平均とほぼ同じか、もしくは高いという結果でしたが、「思考・判断・表現」は都の平均よりも大きく下回る結果となりました。

(2)理科B:読み解く力に関する内容



本校の理科Bの正答率は、全体としては都の平均を大きく下回る結果となりました。項目別では、「読み取る力」が都の平均とほぼ同じであったものの、「取り出す力」、「解決する力」においては都の平均よりも低い結果となりました。

2. 今後の生活に活かすポイント (正答率が低かった問題)

理科を学習するモチベーションを示す「関心・意欲・態度」の項目において都の平均よりも高い数値が表れていることから、本校生徒は理科を学習することを「前向き」に捉えていると考えられる。そこで、その前向きな姿勢を最大限に生かし、それを理科の諸問題を解決する力に繋げていくことが大切である。具体的には「質問教室などを通して生徒一人一人に、よりきめ細かな指導を行うこと」、「実験では自分の考えをまとめる時間を多くとること」、「テストではこれまでに学んだことを生かして、深く考えさせる問題を多く取り入れること」などが考えられる。